

千葉県感染症発生動向調査情報

2016年 第40週 (10/3-10/9) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		40週	39週	38週	37週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数	小児科	16	18	18	16
	眼科	4	5	5	4
	インフルエンザ*	26	28	28	24
	基幹定点	1	1	1	1

*「定点当たりの患者数」とは報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉県					千葉県 9/26-10/2 39週
		注意報	10/3-10/9	9/26-10/2	9/19-9/25	9/12-9/18	
			40週	39週	38週	37週	
小児科	RSウイルス感染症	○	27 1.69	16 0.89	19 1.06	11 0.69	308 2.28
	咽頭結膜熱		0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.13	19 0.14
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		12 0.75	25 1.39	20 1.11	35 2.19	337 2.50
	感染性胃腸炎		76 4.75	83 4.61	46 2.56	78 4.88	382 2.83
	水痘		3 0.19	4 0.22	5 0.28	3 0.19	37 0.27
	手足口病	↓	39 2.44	51 2.83	27 1.50	19 1.19	363 2.69
	伝染性紅斑		2 0.13	2 0.11	1 0.06	1 0.06	21 0.16
	突発性発しん		7 0.44	13 0.72	6 0.33	10 0.63	72 0.53
	百日咳		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.01
	ヘルパンギーナ		20 1.25	27 1.50	23 1.28	29 1.81	146 1.08
	流行性耳下腺炎		5 0.31	6 0.33	4 0.22	8 0.50	83 0.61
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		2 0.08	4 0.14	2 0.07	2 0.08	38 0.18
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.03
	流行性角結膜炎		3 0.75	3 0.60	2 0.40	4 1.00	17 0.49
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.44
	マイコプラズマ肺炎		2 2.00	1 1.00	2 2.00	1 1.00	11 1.22
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 1.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(5件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	80歳代	病原体遺伝子の検出等	腸管出血性大腸菌感染症	男性	50歳代	細菌の検出及びベロ毒素の確認
結核	女性	40歳代	IGRA検査		女性	40歳代	
後天性免疫不全症候群	男性	30歳代	血清抗体の検出	-	-	-	-

・第40週は、結核2件(191)、腸管出血性大腸菌感染症2件(17)、後天性免疫不全症候群1件(7)の報告があった。

※ ()内は2016年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第40週のコメント

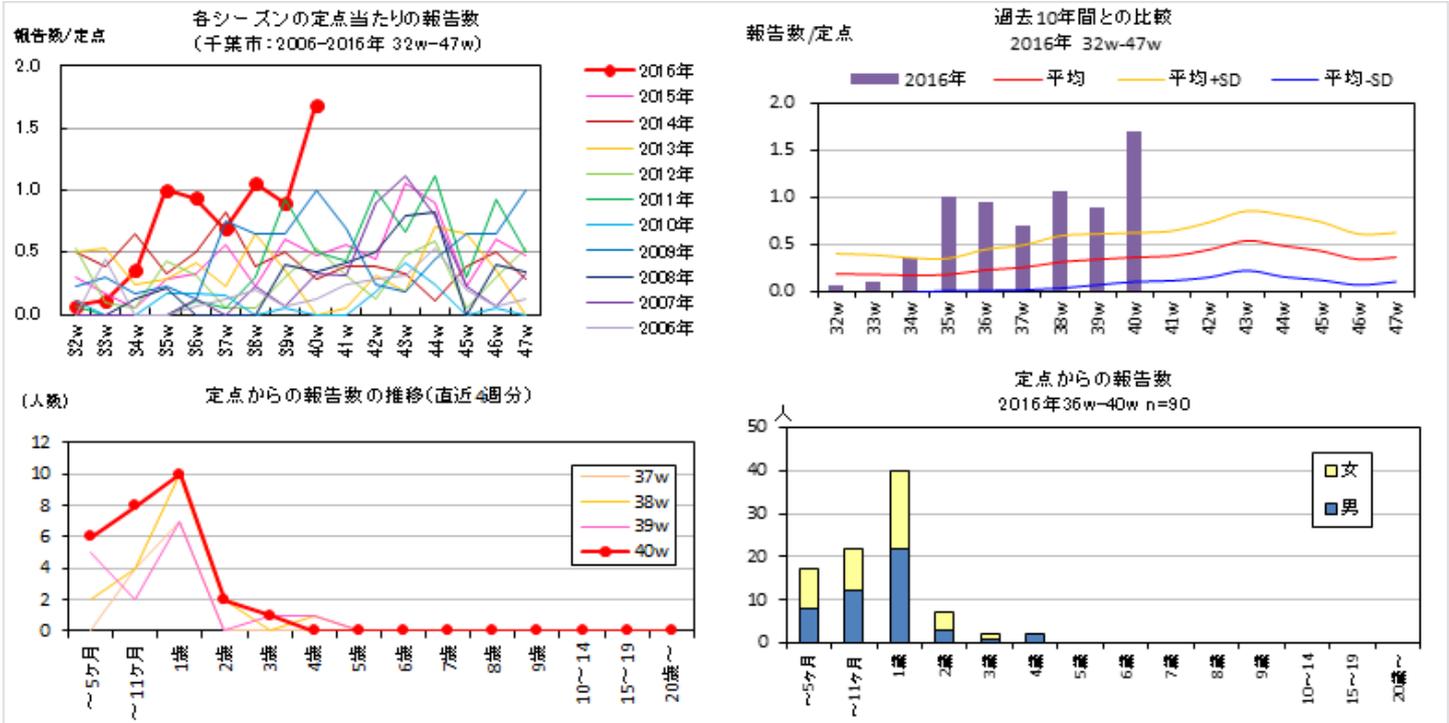
<RSウイルス感染症> 前週より大幅に増加し1.69となった。過去10年の同時期と比べると最多。

<手足口病> 前週より減少し2.44となったが、過去10年の同時期と比べると多いまま。

■ トピック ■

＜RSウイルス感染症＞

全国レベルは第34週から連続して過去9年の同時期と比べると最多となっており、第39週も同様となっています。都道府県別では、石川県、新潟県、宮城県、の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより多めとなっています。千葉市の第40週は前週より大幅に増加し1.69となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は、美浜区(3.5/定点)で最多となっており、同区の6～11月で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2016年第36週から第40週までの累積報告数(n=90)によると、性別では男性が53.3%(48名)、女性が46.7%(42名)で、年齢階級別では1歳(44.4%:40名)、6～11か月(24.4%:22名)、0～5か月(18.9%:17名)の順に多くなっています。



＜手足口病＞

全国レベルの第39週は過去9年の同時期と比べると少なめとなっています。都道府県別では、宮城県、宮崎県、千葉県の順に多く報告されています。千葉市の第39週は前週より減少し2.44となりましたが、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、稲毛区(6.5/定点)で流行発生警報開始基準値(5.0/定点)を上回り最多となっており、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。2016年第1週から第40週までの累積報告数(n=504)によると、性別では男性が54.2%(273名)、女性が45.8%(231名)で、年齢階級別では1歳(38.7%:195名)、2歳(17.3%:87名)、6～11か月(13.7%:69名)の順に多くなっています。

